

三沢市立三沢病院 外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科5年 櫻澤 このみ

10月28日~11月22日の4週間、三沢市立病院で実習をさせていただきました。毎日手術で忙しくとても充実していて、あっという間の4週間でした。私は大学の外科の実習では下部消化管グループを回っていましたが、大学では手術日が少ないため、術野に入る時間も限られていました。しかし三沢病院の実習では毎日手術があり、そのほとんどで術野に入らせていただきました。術野に入ると、外から見ているだけではわからなかった先生方の手技や体の解剖学的な構造を間近で見ることができました。実際の体に触れながら、先生方にたくさん解剖や術式について教えていただき、新たな発見や学びのある時間でした。



この実習でよかったことは、外科に必要な手技を実際の患者さんで行うことができたことです。手術においては、埋没縫合や腹腔鏡手術のカメラ持ちなどをさせていただきました。慣れないことも多くて、特にカメラ持ちは距離感や適切な角度がなかなか掴めず、1番難しい仕事でした。先生方の見たい視野までスムーズに動かせずたくさん迷惑を掛けてしまい、自分の実力不足に失望しました。他にも、抜鉤やドレーン抜去も患者さん相手にやらせていただきました。たくさん手技を経験して、反省点が見つかったことも私にとって大きな収穫となりました。

今回のクールでは、研修医の先生が同じ外科を回っていたこともあり、色々なお話を聞いて、数年後の自分の姿を思い描くことができ、良い刺激になりました。また、研修医になれば、救急の現場や手術において、私が想像しているよりはるかに多くのことを医師と同じようにできなければならないことを知りました。今の私は知識も浅く、できることも限られていますが、大学卒業後には医療現場の一員として働いていることになります。残り一年ほどの実習でできるだけ多くのものを見たり経験したりして、今から理想とする医師像に近づけるよう頑張ろうと心を新たにすきっかけになりました。

最後になりますが、外科の池永先生、米内山先生、神田先生、研修医の中野先生をはじめとする先生方、三沢病院の皆様、有意義な実習をさせていただき本当にありがとうございました。三沢病院で得たものを忘れずに、今後の実習や将来医師となった時にも活かしていきたいと思っております。

実習期間：2024.10.28~2024.11.22